

ネクソン、「カウンターストライクオンライン2」開発を発表 韓国法人と米 VALVE Corporation が提携

株式会社ネクソン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:崔 承祐/チェ・スンウ、東証:3659、以下 ネクソン)は、当社の子会社 NEXON Korea Corporation(ネクソン코리아 コーポレーション、本社:韓国ソウル市、代表取締役社長:ソ・ミン、以下 ネクソン코리아)がアメリカのゲーム開発社 Valve Corporation(バルブ・コーポレーション・代表 Gabe Newell・以下 Valve 社)と提携し、当社の人気オンライン FPS ゲーム、「カウンターストライクオンライン」の続編である「カウンターストライクオンライン2」を開発する事を発表致します。

「カウンターストライクオンライン2」はカスタマイズした最新バージョンのソースエンジンを搭載しており、よりリアリティを追求したグラフィックと、攻撃時の操作感やリアクションを強化したのが特徴です。更に、今回の続編には、既存オリジナルモードの他に、多様な新しいコンテンツも追加される予定です。

今回の契約でネクソン코리아とValve社は、日本、韓国、中国、台湾、東南アジアでの本ゲームのパブリッシング権を包括的に結んでおり、アジア地域の FPS ゲーム市場のシェア拡大を目指します。

ネクソン코리아は2007年よりValve社との契約を通じ、「カウンターストライクオンライン」を共同開発して、現在はアジア5カ国でサービスしています。日本でも人気FPSゲームとして愛されている「カウンターストライクオンライン」は中国で最高同時接続者数50万名、韓国では5万名、台湾では7万名などの記録を保有しているほど人気を集めています。



■カウンターストライク(Counter-Strike) ゲーム紹介

1999年の夏発売されたFPSゲームである「ハーフライフ(Half-Life)」のMOD(Modification)バージョンとして初公開された「カウンターストライク」はテロリストとそれを鎮圧するカウンターテロリストとの戦いがメインストーリーのFPSゲームで、最高の打撃感やリアクション、スピード感のあるゲーム進行が特徴です。原作を乗り越える爆発的な人気を集めた「カウンターストライク」は、2000年の秋には公式タイトルとして発売され、これまでに世界で2,500万枚以上販売高を記録し、今日におけるFPSゲームでのベストセラーになっています。「カウンターストライク」はe-sportsとしても多くの人気を得ていて、全世界e-sports大会で正式種目になっています。「カウンターストライク」はValve Corporationの登録商標です。

■Valve Corporation <http://www.valvesoftware.com/>

Valve社は1996年に設立され、1998年FPSゲーム「ハーフライフ」を公開し、全世界ゲームユーザーの耳目を集めて来ました。以後「カウンターストライク」、「ハーフライフ2」、「チームフォートレス2」、「ポータル2」などの優秀なタイトルを販売して5千万枚以上の販売高を記録し、ゲームだけではなく、有名な3Dエンジンである「ソースゲームエンジン」を開発して優れた開発力を認定されています。他には、全世界4千



万人のユーザーが楽しんでいるオンラインプラットフォーム「スチーム」をサービスしていて、現在「DOTA2」を開発しています。

■株式会社ネクソン <http://company.nexon.co.jp/>

ネクソンは、1994年に韓国ソウル市で設立され、その後日本へ本社を移転いたしました。創業以来、良質なオンラインゲーム、モバイルゲーム及びソーシャルゲームを制作・開発、配信してまいりました。

代表的なゲームタイトルである「メイプルストーリー」、「アラド戦記」、「カウンターストライクオンライン」、「マビノギ」及び「サドンアタック」といったネクソンが提供する豊富なゲームタイトルは、より幅広いジャンル、多様なユーザー層及び世界中の潜在的ユーザーへ訴求しております。現在では、50を超えるゲームタイトルを配信し、アジア・北米・南米・欧州を初めとする100を超える国及び地域にてサービスを展開しております。